

仕 様 書

1. 物品名及び数量 植物茎（幹）内蒸散流量測定装置 1式
2. 納 期 令和7年8月29日（金曜日）
3. 納入場所 佐賀県果樹試験場 （佐賀県小城市小城町晴気91）
4. 購入及び使用目的

現地ハウスミカン栽培において、近年の秋季高温乾燥が影響とみられる発芽不良によって加温停止が多発している。発芽不良の要因は過度の乾燥ストレスと考えられており、樹体内の水の動きを測定する装置を用いた要因解析と対策技術の開発が急務である。そこで、樹体を傷つけることなく樹液流量を測定することができる本機器を新規に導入して、ハウスミカン発芽不良対策試験の効率化を図る。

5. 目的を満たすために必要な仕様と理由

- ① 茎熱収支法により茎内の蒸散流量（絶対値）を測定できること。
- ② 3種類の茎の形状（9～13 mm、18～23 mm、32～45 mm）にフィットすることができ、非破壊的に蒸散流量を連続測定できること。
- ③ ダイナゲージの測定精度が±10%以内であること。
- ④ ロガー接続ケーブルキットを用いて、7 m以上にケーブルを延長できること。
- ⑤ ソフトウェアを使用することで、樹液流量の時系列解析・グラフ化、蒸散量の積算・平均・変動評価ができること。

※参考機種 植物茎（幹）内蒸散流量測定装置 一式（メイワフォーシス株式会社）

- <内訳> ①マイクロロガー CR1000Xe/M
（ソフトウェア、サンプルプログラム、ACアダプター付）SDI-12 16ch
- ② ロガー接続ケーブルキット（7.6M）EQCW-K25
 - ③ ダイナゲージ（φ9～13 mm）（ステムゲージ）SGA10-WS
 - ④ ダイナゲージ（φ18～23 mm）（ステムゲージ）SGB19-WS
 - ⑤ ダイナゲージ（φ32～45 mm）（ステムゲージ）SGB35-WS

又は、同等の性能を有るものであれば可。

6. その他

- ① 1年以上の保証があり、故障した場合には修理が迅速にできるよう、メンテナンス体制が充実している製品であること。
- ② 同等品で見積もりする場合は、事前に果樹試験場の了解を得ること。
- ③ 納入時に、装置の基本操作や保守・点検等の必要な説明を職員に対して行うこと。また、機器納入後は、継続したサポートが可能なこと。